



Pick UP!

テーマ | 小説でひんやり

『わたしたちは、海』カツセマサヒコ/著(光文社)

ISBN:978-4-334-10429-0



海辺の街で繰り広げられる、訳ありな人たちの寂しく、
切なく、息苦しく、ままならない小さな物語たち。
どれも波のように生まれては消えてゆく。
海の匂いを感じられる涼やかな一冊。



『ばにらさま』山本文緒/著(文藝春秋)

ISBN:978-4-16-391426-8



日常が一転する瞬間を描いた6つの短編集。
表題作『ばにらさま』は、冴えない僕にできた彼女の
話。彼女は、バニラアイスのように白くて冷たい。
どの話も、痛く、切ない。ずっと心が冷えていくような
読後感を味わえる。



『一寸先の闇』澤村伊智/著(宝島社)

ISBN:978-4-299-04414-3



「かみさま」を作るため夏休みも登校する小学生たちの
話、飛び降り件数の多いマンションの話など身近に
感じられる恐怖が詰まったショートショート集21編。
さくっと読めて手軽に涼むことができる。



QRコードを読み込むと、品川図書館のホームページから本の詳細を確認することができます。

→裏面もチェック!



『お前の死因にとびきりの恐怖を』梨/著
(イースト・プレス) ISBN:978-4-7816-2337-5

文芸部の片隅で見つけたUSBメモリには、数年前に自殺をした男子高校生にかかわる記録が残されていた。

記録と小説が織りなす清涼感ある青春ホラー。



『撮ってはいけない家』矢樹純/著(講談社)

ISBN:978-4-06-537603-4



映像制作ディレクターである杉田佑季は、ホラーのプロット制作を任せ、「家にまつわる呪い」のロケをすることに。怪談好きの同僚は、フィクションである企画と現実の出来事との奇妙な共通点に気付き……？

ジャパニーズホラー要素満載の正統派ホラー作品。



注目の新刊

7/1～7/31の間に新しく受け入れた本の中からおすすめを紹介！

タイトル	著者 出版社	ISBN
あなたの思い出 なに色ですか	太田紫織 文藝春秋	978-4-16-792390-7
黒ばら先生と 秘密のはらっぱ	木地雅映子 中央公論新社	978-4-12-005927-8
盗んで食べて吐いても	桜井美奈 小学館	978-4-09-386759-7
もしも料理店	田丸雅智 小学館	978-4-09-386704-7
寿ぐ嫁首	三津田信三 KADOKAWA	978-4-04-116078-7